



くみあげる、ミライ。

ユードムチャレンジカップ 2023全国選抜小学生プログラミング大会

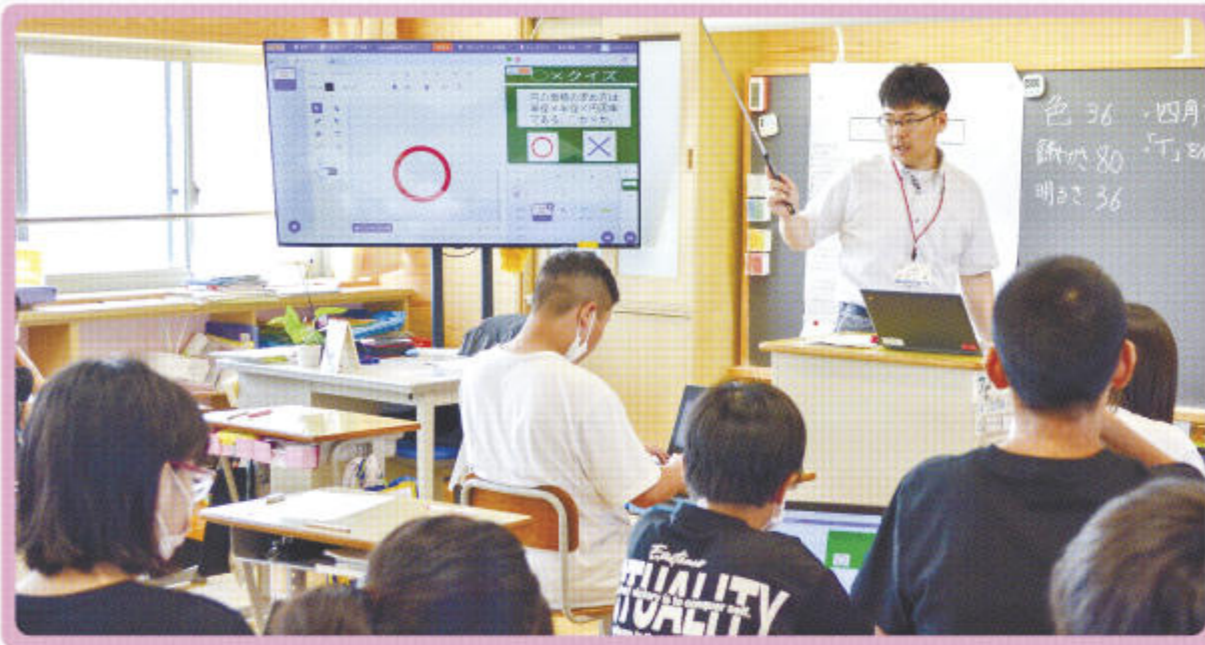
～茨城県大会～

自作の作品競争 12月に最終審査

県内の小学生が発想力や表現力を駆使し独自のプログラムで制作した作品を競う「ユードムチャレンジカップ～全国選抜小学生プログラミング大会茨城県大会」(茨城新聞社など主催)は10月下旬に一次審査、12月16日に最終審査と表彰式が行われます。小学校で2020年度からプログラミング教育が必修化される中、作品発表の場をつくり、子どもたちの思考力や行動力、プロデュース力を含めた総合的な人間力を育てることが目的です。テーマは「みんなの未来」。県知事賞受賞者は来年3月3日に開かれる全国大会に出場します。

水戸市立下大野小 端末活用し「〇×クイズ」

小中学生にデジタル端末を1人1台配備する国の「GIGAスクール構想」やプログラミングの必修化を受け、県内の小学校でプログラミング教育の取り組みが広がっています。端末を活用して「〇×クイズ」のゲーム作りに挑戦した、水戸市立下大野小のプログラミングの授業を取材しました。



「〇×クイズ」のゲーム作りに挑戦した水戸市立下大野小のプログラミングの授業。同市塩崎町

ゲーム作りで基礎学ぶ

面文字を大きく表示する方法についても意見を出し合った。イメージが固まったところで、いよいよ〇×クイズ作りだ。クイズを構成するのは「出題」「解答」「正解・不正解」「最終結果(正解数)」の各画面で、それには背景と、画面に表示する「問題文」「〇」「×」「正解・残念」「次へ」「解説文」の6種類の「スプライト」の作成が必要となる。問題文は1学期の復習を兼ね、各教科で習った内容を基に各自が考えた。

した様子。最初から答えを示さず、考えさせながら授業を進めたこともあり、この日は問題文を1問作ったところで時間切れに。残りの画面作成やプログラミングでゲームを動かす作業は2学期に持ち越しとなった。作成した問題は「日本にコメを運ぶのはインドか(正解は×)」「メダカはミジンコを食べるか(正解は〇)」など。白土

教諭は「少し難しかったようだが、自分たちなりに考えてやってくれた」と頑張りたたえたと。大和田琉斗君(6年)は「〇×クイズ」を作るのが難しかった。プログラミングは自分でいろいろなものを作れるところが楽しい、久野龍正君(同)は「問題文を作るのに苦労した。プログラミングは好きだし、将来に生かせると思う」と感想を話した。



各自の端末で「〇×クイズ」の問題文作りに取り組み児童

まずは設計図

夏休み目の7月18日の3、4時間目、下大野小の6年生19人が、プログラミング言語の「Scratch(スクラッチ)」を使って、〇×クイズのゲーム作りを行った。

総合的な学習の時間を活用したプログラミングの授業で、ゲーム作りを通じてプログラミングの基礎を学ぶのが狙い。「クイズを作りたい」との児童の声を聞き、クイズ番組のような4択と比べ難易度が低い2択の〇×クイズを作ることとした。

「まずは設計図を考えましょう。どんな機能があれば、〇×クイズができるでしょうか」

担任で情報主任の白土瑞樹教諭の問い掛けを受け、児童らは各自の端末で「ジャムボード」(電子ホワイトボード)のふせんにアイデアを記入。出題の画

将来生かせる

全校児童78人の下大野小は「小規模特認校」に指定され、ICT(情報通信技術)を活用した教育を推進している。

1人1台のタブレット端末の扱いは手慣れた児童たちだが、プログラミングの実践には苦労

大会概要

- テーマ **みんなの未来**
- 使用言語 **自由**
- 応募締め切り **9月30日(土)**
- 参加費 **無料**

応募のしかた

- 【応募資格】茨城県在住または茨城県内の小学校・義務教育学校に所属する6歳以上12歳以下(2023年4月1日時点)の小中学生
- 【応募規定】未発表の作品に限る。個人または団体、1人(団体)1作品。団体作品は1チーム2人以上4人以内とする。
- 【応募方法】茨城新聞社ホームページ内の特設サイト「全国選抜小学生プログラミング大会」から専用フォームで申し込む。

応募の前に必ず大会要項と規約を特設サイトで確認してください。

審査のながれ

- ファーストステージ(一次審査) 10月下旬
審査⇒ファイナルステージ進出 20作品(特別賞7作品・優秀賞13作品) 選出
- ファイナルステージ(最終審査) 12月16日(日)
◇特別賞:プレゼンテーション⇒各賞決定(県知事賞ほか)⇒表彰
◇優秀賞:ポスター発表⇒表彰
○全国大会(2024年3月3日(日)) 県知事賞受賞者が出場

- 主催 茨城新聞社、全国新聞社事業協議会
- 特別協賛 株式会社ユードム、国立大学法人茨城大学
- 後援 文部科学省、経済産業省、デジタル庁、茨城県、茨城県教育委員会、茨城放送、茨城新聞茨城会
- 協賛 (公財)げんてんふれあい茨城財団、NPO法人ひと・まちなつとわーく

お問い合わせ 茨城新聞社営業局事業部 TEL029-239-3005

詳しくはQRコードから特設サイトをご覧ください



ユードムってどんな会社?

1976年の創業以来、社会インフラ領域を中心としたシステム開発に従事して参りました。業務の一例を紹介します▶

茨城でITを相談するならユードムへ
株式会社 ユードム

本社:茨城県水戸市城南1-5-11 TEL 029-227-3061
土浦支社:茨城県土浦市港町2-2-12 TEL 029-825-2720
東京本社:東京都千代田区富士見 2-7-2 ステージビルディング 5F
TEL 03-5226-8825



2023 健康経営優良法人 Health and productivity
地域未来牽引企業
https://www.udom.co.jp/

